

## DSO参加機関のイベントのご案内

### ◆筑波大学◆ 重点公開講座「ダイバーシティ(多様性)から世界を読み解く！」

<http://www.geo-wlb.tsukuba.ac.jp/node/2250>

全5講座

現代社会において、多様な人々や自然と共生していく上で、「多様性」という視点は欠くことのできない概念となっています。本講座は、文化、福祉、ビジネス、教育等の現場において、「多様性」がどのように人々を繋げつつあるのか、多様な人々や多様な環境との共生に対する問題意識を高めると共に、個々がダイバーシティ社会の担い手となるよう実践力を身につけることを目的とした講座です。

受講には事前予約が必要となります。  
※ 連続受講を基本としますが、各講座1日のみのご参加も可能です

#### 【日程・内容】

- 10/9(火) 14:30-16:00  
「筑波大学におけるワークライフバランスの勧め」  
吉瀬 章子 筑波大学ダイバーシティ推進室長  
「男女共同参画社会の実現をめざして  
～茨城県の現状と取り組み～」  
寺嶋 常文 茨城県知事公室 女性青少年課 副参事
- 10/16(火) 13:30-15:00  
「筑波大学におけるダイバーシティ教育の試み」  
池田 潤 筑波大学人文社会科学部 教授  
明石 純一 筑波大学人文社会科学部 助教

- 10/23(火) 14:30-16:00  
「世界遺産の現場から見えてくるもの  
－多文化理解と共生のモデルを目指して－」  
稲葉 信子 筑波大学人間総合科学研究科 教授
- 10/30(火) 14:30-16:00  
「しなやかに、たおやかに、そして自分らしく  
～男女協働参画からのダイバーシティ～」  
村田 恒子 パナソニック株式会社 法務本部 理事
- 11/6(火) 14:30-16:00  
「介護を民俗学で考えてみよう」  
平野 国美 ホームオンクリニック院長

【対象者】 一般

【場所】 筑波大学 春日エリア

【定員】 60名

【問合せ・申込】  
筑波大学ダイバーシティ推進室  
TEL: 029-853-8504  
FAX: 029-853-8505  
E-mail: [diversity@un.tsukuba.ac.jp](mailto:diversity@un.tsukuba.ac.jp)



### ◆森林総合研究所◆ 第12回エンカレッジ推進セミナー 兼 平成24年度 労働衛生週間講演会

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/encr/sympo/shonai-semi/12semi/12seminar.html>

【日時】 2012年10月4日(木曜日) 13時15分～15時15分

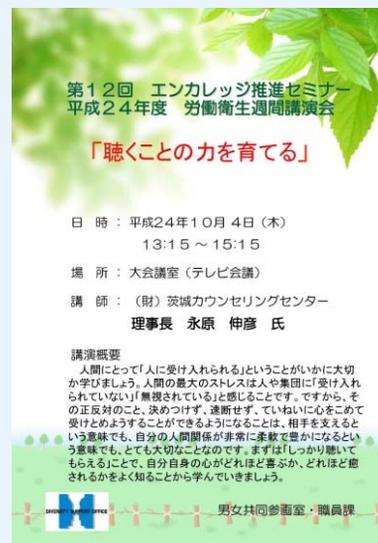
【場所】 森林総合研究所・本所2階大会議室(支所等へTV会議中継)

【講師】 (財)茨城カウンセリングセンター 理事長 永原 伸彦 氏

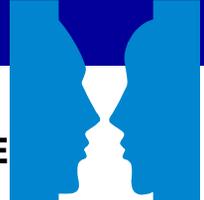
【内容】 人間にとって「人に受け入れられる」ということがいかに大切か学びましょう。人間の最大のストレスは人や集団に「受け入れられていない」「無視されている」と感じる事です。ですから、その正反対のこと、決めつけず、速断せず、ていねいに心をこめて受けとめようすることができるようになることは、相手を支えるという意味でも、自分の人間関係が非常に柔軟で豊かになるという意味でも、とても大切なことなのです。まずは「しっかり聴いてもらえる」ことで、自分自身の心がどれほど喜ぶか、どれほど癒されるかをよく知ることから学んでいきましょう。ふるってご参加ください。

#### 【お問い合わせ】

所属課室: 企画部男女共同参画室 〒305-8687 茨城県つくば市松の里1  
電話番号: 029-829-8360 FAX番号: 029-874-8507  
Email: [geneq@ffpri.affrc.go.jp](mailto:geneq@ffpri.affrc.go.jp)



DSO参加機関に所属する方もご参加いただけるイベントをご紹介します。ふるってご参加ください。



## お役立ち情報

### ◆第10回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム 科学・技術における性差◆

【日時】 2012年10月7日(日) 9:30~18:10

【場所】 東京慈恵会医科大学 西新橋キャンパス大学一号館  
(東京都港区西新橋3-25-8)

【主催】 男女共同参画学協会連絡会 【共催】 東京慈恵会医科大学

【後援】 内閣府男女共同参画局、文科省、科学技術振興機構、日本学術会議、経産省、厚生省

【趣旨】 男女共同参画学協会連絡会は、科学・技術の分野において、女性と男性が共に個性と能力を發揮できる環境づくりとネットワーク作りを行い、社会に貢献することを目的として設立され、現在、正式加盟47学協会、オブザーバ加盟23学協会が参加している。本年は連絡会発足10周年であり、日本における男女共同参画の歴史を振り返り、未来を提案するためのプログラムを企画した。我が国における科学技術の発展および持続可能な社会の実現のために、人間のダイバーシティの1つである男女の違いを科学的に見つめ、生物としての男女の違いに立脚して男女共同参画を考え、男女研究者がともに生き生きと研究できるために必要な支援策を探る機会としたい。

【詳細】 <http://annex.jsap.or.jp/renrakukai/index.html>



### ◆国際連合広報センター◆「国際ガールズ・デー」記念イベントのご案内

スタンド・アップ テイク・アクション2012~Girl's Impact -- ガールが世界を変える~

世界の国々、とりわけ開発途上国では女子(18才未満)の多くが経済的、文化的な理由により学校に通えず、10代前半での結婚を余儀なくされ、貧困の中で暮らしています。また先進国においても、女子には様々な社会的制約が存在します。しかし、適切な教育と支援を受けることができれば、彼女たちの可能性は無限に広がり、未来は大きく変えられるのです。こうしたことから、国際社会は女子の持つ可能性に注目し、2011年12月、国連総会において10月11日を「国際ガールズ・デー(International Day of the Girl Child)」と決めました。

記念すべき第1回の国際ガールズ・デーを迎えるにあたり、国連広報センターはNGOと共に関連イベントを開催します。イベントを通して、女子のエンパワーメントが国連ミレニアム開発目標(MDGs)の達成に不可欠であることを知っていただくと共に、世界中の女子が自らの可能性を認識し、自分自身の手で未来を切り拓くという意識を高めてもらうことを目指します。

【日時】 2012年10月8日(月・祝) 13:00-15:00

【場所】 第1部 セミナー 国連大学本部ビル3階 ウ・タント国際会議場

第2部 スタンド・アップ テイク・アクション 国連大学 屋外スペース

【言語・定員・参加費】 日本語、定員(第1部セミナー)360名、参加無料

【主催】 国連広報センター(UNIC)、公益財団法人プラン・ジャパン、公益社団法人ガールスカウト日本連盟、動く→動かす

【後援】 内閣府男女共同参画局、「なんとかしなきゃ!プロジェクト」

【詳細】 <http://unic.or.jp/unic/news/2788/>

世界は女性を若い頃から支援

## ダイバーシティ・サポート・オフィスのご案内

ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)は、研究教育機関の男女共同参画推進とその連携のためのコンソーシアムです。

DSOは、女性研究者の意欲触発支援や実践支援のノウハウを蓄積・発信・共有してきましたが、2010年度からは女性研究者支援だけでなく、性別にかかわらず能力を發揮するための男女共同参画推進とその連携を支援しています。

2007年9月に設立され、2011年度までに19機関が加入しています。

産業技術総合研究所

森林総合研究所

物質・材料研究機構

農業環境技術研究所

千葉大学

筑波大学

神戸大学

農業・食品産業技術総合研究機構

土木研究所

国立環境研究所

国際農林水産業研究センター

農業生物資源研究所

防災科学技術研究所

高エネルギー加速器研究機構

理化学研究所

宮崎大学

上智学院

弘前大学

岡山大学

(平成24年9月26日現在、加入順)



「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、それぞれで働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして月1回発行しております。当Letterの紹介も歓迎いたします。バックナンバーはDSOホームページにてご覧いただけます。